

自作教具の活用事例

<p>【作品名】 コップタワーを作ろう！</p>	<p>【学校名】 日立市立大久保小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動 (感覚や認知・コミュニケーションの学習)</p>	<p>【制作者名】 松本 貴裕</p>
<p>【制作の意図】 指先を動かしながら、コップを並べたり積んだりすることで、巧緻性を養うことができる。 コップ表面に数字を記入することにより、数の順序を身に付けることができる。</p>	<p>【使用の方法】 2～3人一組でチーム対抗で行う。紙コップの数は、児童の実態に応じて変えていく。紙コップは、予め数字順ごとに置いたり、慣れてきたらランダムに床に置いたりする。10～15段積み上げていく中で、必ず数字が表面に見えるようにする。時間は、最後までコップが積み上げ終わるまで計測する。</p>
<p>【制作上の工夫】 紙コップに数字を書くことで、数の順序を身に付けることができる。 頂上の紙コップには、チームの好きなシールを貼ったり、キャラクターをかいたりすることで、活動意欲を高める。</p>	<p>【見取り図】</p>  <p>数字順に並べて組み立てる。</p>
<p>【写真】</p>  <p>最後の一つに好きなキャラクター等のシールを貼ったり、絵をかいたりすることにより、活動意欲が高められる。</p>	 <p>数字の塊でまとめておく。</p> <p>【使用効果と応用発展】 指の感覚に全集中できる。指先を動かすことが苦手な児童でも、コップを静止させたり、多くのコップをつまんだり、指先の感覚を学ぶことができる。 数字を書くことにより、コップの数が明確になり、何個積みば終わるのか明確な目標がわかる。 チーム対抗で行うため、協力意識が芽生え、お互いに支え合うことを学ぶ。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 紙コップ 油性ペン シールなど プロジェクター（タイマー表記）</p>	